北区の部屋だより
第171号

2023年11月

刊行物登録番号4-2-135

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」　〒114-0033 北区十条台1-2-5　℡03-5993-1125　令和５年１１月発行

北区こぼれ話 第171回

渋沢栄一が王子町青年団発団式で訓話
～自らの陞爵祝賀会当日に～

渋沢栄一は、大正９年（1920）９月、子爵を授けられました。それまでは、一つ下の男爵でした。爵位が上がることを陞爵と言います。爵位は高い順から、公爵・侯爵・伯爵・子爵・男爵となっていました。例えば、伊藤博文は公爵で「伊藤公」と呼ばれ、大隈重信は侯爵で「大隈侯」と呼ばれました。渋沢はそれまで「渋沢男」であったものが「渋沢子」へ変わったわけです。男爵が多い財界人の中にあって、渋沢がもう一段陞爵したのは異例のことでした。渋沢の陞爵祝賀会は、大正10年（1921）５月１日、西ケ原の渋沢邸で開催されました。

この日、西ケ原に近い王子でも、大きな式典がありました。王子町青年団の発団式が開催されたのです。会場は、王子劇場という建物でした。朝から花火が打ち上げられ、午前９時10分に開会、館内は満員になりました。全員が起立して教育勅語を奉読し、その後、議事に移り、団則の決議、団長の決定、団長挨拶、役員選挙などへ進みました。さらに、北豊島郡長の挨拶、地元選出代議士の挨拶など、来賓の祝辞が始まりました。そして、この祝辞の最中、ある人物が現われたのです。当時珍しかった自動車に乗って、渋沢栄一が登場しました。

この式典についての記述がある「高木助一郎日記」（北区の部屋で公開）で確認してみましょう。

> **此ノ時、自動車ヲ駆ッテ渋沢子爵閣下ノ御来場アリ、直チニ八十二歳ノ老躯ヲ檀上ニ運ビ、予等青年ノ為メニ約二十分ニ及ブ訓話アリ、聴衆厳粛ニシテ水ヲ打タルガ如シ、終ルヤ直チニ帰ラル**

渋沢栄一は、なんと、自分の陞爵祝いの当日に、王子劇場へ駆けつけ、青年たちのために訓話をしたのです。「高木日記」には、つぎのようにあります。

> **本日ハ渋沢子爵邸ニ於テハ朝野ノ各名士ヲ招ジテ陞爵ノ祝賀会ヲ催ホサルヽニモ係ラズ、特ニ予等青年ノ為メ御臨場ヲ賜リタル次第深ク各員感謝スル処ナリ**

青年団関係者は、このような日に渋沢に登壇を頼んだところで、本人が来場する可能性は低いと考えていたのでしょう。一般的に、政治家や財界人が、自分自身の祝いの行事と、様々な式典が重なった場合、式典には代理を出席させることが多いように思われます。渋沢の祝賀会と、王子町青年団の発団式のどちらが先に日程を決めていたのかは分かりません。いずれにせよ、発団式をこの日に定めたことについて、彼ら青年たちは、不運に思ったことでしょう。そうした中で、渋沢本人が現われたため、青年たちは感激したものと考えられます。「私を去り公に就く」ことを説いた渋沢栄一らしいエピソードです。

【地域資料専門員　黒川徳男】

平塚神社（上中里 1-47-1）の狛犬

北区の部屋 今月の展示

狛犬（こまいぬ）

・展示期間：10 月 27 日（金）～11 月 23 日（木）
・展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

私たちが神社の入り口や境内で見かける狛犬。よく見るとそのかたちは一様ではなく、神社によって様々なかたちをしています。そこで今回の展示では、北区内の神社の狛犬を一堂に会してみました。みなさんはどの狛犬が好きですか？

公開歴史講座

関東大震災から 100 年

―検証・北区の被災と復興―

日時　１２月２日（土）午後２時～４時
会場　中央図書館３階　ホール
講師　当館地域資料専門員　黒川徳男
対象　北区在住・在勤・在学で中学生以上の方
定員　４０名（申込多数抽選）
申込　往復はがきに右の必要事項を記入のうえ、
　　お申込みください。
　　１１月１０日（金）（必着）まで

①往信用裏面：講座名
　　郵便番号、住所
　　氏名（ふりがな）
　　年齢、電話番号
②返信用表面：申込む方の住所
　　氏名を記入

※視覚障害のある方は電話、聴覚障害のある方はファックス可。
※障害のある方で付添いが必要な方は付添い１名まで可。（その旨はがきに記入）
※会場にはヒアリングループ補聴援助システムが設置されています。

Hearing Loop

◎申込み/問合せ　〒114-0033　北区十条台１-２-５　中央図書館 図書係
TEL：03-5993-1125/FAX：03-5993-1044

江戸時代、滝野川の『滝野川にんじん』や『滝野川ごぼう』がブランド野菜だったそうです。食欲の秋にこんな本はいかがでしょうか。

「江戸東京野菜　物語篇」大竹道茂（おおたけみちしげ） 著
農産魚村文化協会

江戸時代から食生活を支え、食文化を育んだ「江戸東京野菜」。
江戸東京野菜とは何か、中山道に近い滝野川村あたりが種屋街道（たねやかいどう）と
呼ばれるなりたちなど、江戸東京野菜にまつわる物語を紹介しています。

書誌番号（B10851547）